

# おだがいさま

odagaisama

97号  
令和3年  
12月1日発行

住民の住民による住民のための  
元気な地域づくり



## 誰一人取り残さない！ 地域住民の暮らしを守る買い物支援

令和2年4月末、長年地元住民の食生活を支えてきた三瀬地域唯一のスーパーが閉店しました。このことは地域住民のみならず、豊浦地区（三瀬・小堅・由良）で暮らす住民の生活に大きな影響のある出来事でした。近年、地域に複数あった金融機関が撤退するなど、生活のしづらさが増す中で、このような状況を何とか打破できないかという思いから、地元住民が主体となり、ミニスーパー「産直さんぜ」（鶴岡市三瀬142-3）を立ち上げました。

スーパーは利用する地域住民にとってのコミュニティ

の場にもなっていたことから、閉店によって利用していた高齢者の閉じこもりなども懸念されました。代表の鈴木正さんは、「このままでは将来自分たちも困ると思いました。店舗販売に加え買い物に不便を感じている世帯への買い物代行や移動販売、昔ながらの御用聞きも行き、利用者との信頼関係を築き上げ、住民同士が遠慮しないで助け合える、住民の住民による住民のための元気な地域づくりを目指したい。」と話されていました。

 次頁では利用者の声を紹介！

# 地域住民の

## くらしを守る

### 買い物支援



「産直さんぜ」では、個人宅やサロン活動の拠点などの「集いの場」への移動販売を行っています。実際に利用する方の声や、三瀬地区福祉のまちづくり協議会の声を紹介します。



代表の鈴木正さん(左)と生産者の皆さん

三瀬にスーパーが無くなった時はこれからどうしようかと不安でしたが、こうして家まで来てもらえるので大変助かっています。自分で選んで買えるのも嬉しいですね。



野菜や総菜、その他食品などたくさん！他に欲しいものがあれば、後日届けてくれます。



### 個人宅への訪問



鈴木さん「何か困ってることねえが～」  
何気ない会話も大事なコミュニケーションです。

### 三瀬地区福祉のまちづくり協議会

鈴木さんの取り組みが、三瀬地区支え合いプラン「みんなで作る安心のまち三瀬」の取組「おだがいさま見守りネットの活用」となっています。こうした取組を心強く思っていますし、地区のみなさんも喜んでいきます。



三瀬だからとか、産直だから出来るということではなく、気持ちがあれば誰でもどこでも出来ることなんだよ。

### 集いの場での出張販売



活動日に合わせて出張販売を行います。  
この日は上郷地区中山のしあわせ会へ。

### 他地域にも広がっています！

#### 温海地域「浜っコマルシェ」

今年の9月、温海地域にあった地元スーパーの閉店を受け、地域のお母さんたちが地域住民のためになればと、産直さんぜの姉妹店「ミニスーパー」浜っコマルシェ(鶴岡市温海戊37-16)を立ち上げました。

立ち上げのきっかけは、鶴岡市主催の「地域支え合い活動研修会」に参加した際、「産直さんぜ」の取り組みを知ったことでした。開店に向けての準備では、代表の鈴木さんからも様々なアドバイスを頂いたそうです。

お店の棚には食品や日用品など沢山の商品をはじめ新鮮な地元野菜や手づくりの総菜を並べ、子どもたちのための駄菓子コーナーも設置しています。住民主体の住民のための元気な地域づくりの輪が確実に広がっています。



浜っコマルシェ スタッフの皆さん

# まちづくりはここから! 地域支え合いプラン

鶴岡全26地域での「地域支え合いプラン」完成について本紙でもお伝えしました。「地域支え合いプラン」をもとに、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていける地域づくりのため、各地域で様々な取組が行われています。ここでは取組の内容を詳しくご紹介していきます。

## 第三学区

**学区の特色** 高校や大学、図書館、市立病院等の公共施設が集合しており、最も世帯数の多い学区。  
人口 12,304人 世帯数 5,869世帯  
(令和3年4月現在)

### プラン① みんなで集う座談会

第三学区社協と町内会の座談会を通じて、地域・町内の課題を知って解決のための方向付けをする

### プラン② おだがいさまネット活動

サポーター連絡会の開催、住民への活動内容周知、情報交換

### 町内会ごとに座談会開始!

三学区では、今年度より「みんなで集う座談会」が始まります。町内会ごとに今後できそうなことや地域の困りごとなどの意見交換を行います。21町内会中、現在3町内会で開催され、城北町座談会では、「支援が必要なヤングケアラーの把握が必要」「学校とも連携強化しなければならないのでは」といった意見が上がりました。

このような座談会の開催は初めてだったため、参加した方からは、「学区の事業が分かって良かった」「こういった機会は今までなかなか無かったので良かった」といった感想が聞かれました。

### 頼りになる町のサポーター!!

### 課題解決へ向けて話し合い

「おだがいさま支え合いネット活動」は、公的なサービスでは対応できない日常のちょっとした困りごとを抱えている方々へ、サポーターさんが有償ボランティアとして支援を行う取組です。

今回開催された連絡会には、7名のサポーターさんを含む15名が集まり、普段行っている支援や日頃感じている課題などについて話し合われました。

とても頼りになるサポーターさんですが、これからの支援活動に向けて切実な課題もあることが伺えました。



サポーターが高齢化しており担い手不足が心配

支え合いネットサポーター連絡会



城北町座談会

## 小堅地区

**地区の特色** 鶴岡市の海岸部のほぼ中央、鶴岡地域と温海地域との境に位置し、小波渡、堅苔沢の二つの集落がある。  
人口 695人 世帯数 248世帯  
(令和3年4月現在)

### プラン① 小堅のことをみんなで語ろう

シェアルームでの集いの場、お茶のみサロンの開催、若い世代も入れた語り合いの場など

### プラン② みんなでつくろう小堅の安心

鍵預かり事業、災害時要援護者避難マップ作成、安心カード、福祉協力員研修会の開催など

### 緊急時・災害時は みんなで助け合い!!

小堅地区では、福祉協力員研修会や災害時要援護者避難マップの作成など、地域住民の安心や防災につながる事業を行います。

今回開催された福祉協力員研修会では、福祉協力員の役割、実際どのように活動するのかを、寸劇を交えながら学びました。また、避難マップ作成事業では、参加者が情報交換を行いながら、一人暮らし世帯が一目で分かるよう地図にシールを貼るなどし、災害時に要援護者が把握しやすい避難マップが完成しました。他にも安心カードや一人暮らし高齢者の鍵預かり事業の利用者情報の更新なども取りまとめました。

いざというときに地域一丸となって動ける体制を今後も整えていくことにしています。

### ずっと住みたいこの町に 小堅の安心はみんなで作る!



災害時要援護者避難マップ作成事業  
自治会、民生児童委員、福祉協力員の皆さん

# 第1回

## 「赤い羽根共同募金チャリティ グラウンド・ゴルフ大会 in 羽黒」開催しました!!

10月4日(月)秋晴れの下、「羽黒創造の森グラウンド・ゴルフ場」において、羽黒グラウンド・ゴルフ協会、鶴岡市老人クラブ連合会羽黒支部、羽黒身体障害者福祉協会、羽黒地域福祉委員会のご協力をいただき、第1回「赤い羽根共同募金チャリティグラウンド・ゴルフ大会 in 羽黒」を開催しました。この大会は、赤い羽根共同募金の理解を得るとともに、グラウンド・ゴルフを通して高齢者や障がい者の方々の生きがいづくりに貢献することを目的としています。

多くの方からご参加いただき、「笑い声・ため息…」等が響き、コロナ禍を忘れさせてくれるような楽しい時間を過ごすことができました。



大会参加費の一部が  
共同募金会に寄付されます

### 情報掲示板



#### 年末にお困りの方に食品を提供します



鶴岡地区特養連絡協議会の9法人で形成する「鶴岡市社会福祉法人連携における公益的な取組にかかる連絡会」の取組として、年末にかけて支援が必要な方に向けたフードドライブを実施いたします。

食事面でお困りの方に食品（主にカップラーメン、乾麺、レトルト、缶詰など）を提供しますので、ご希望の方は提供期間内に鶴岡市社会福祉協議会 地域福祉課または各地域福祉センターまでご連絡ください。

●提供期間 令和3年12月20日(月)～24日(金)

午前9時～午後5時

●お問合せ先 鶴岡市社会福祉協議会 地域福祉課、各地域福祉センター  
(連絡先電話番号は本ページ下段をご覧ください)

※必要な数量の確認等のため、事前にお電話でご確認くださいようお願いいたします。また、数に限りがありますので、在庫切れの際はご了承ください。

#### 【鶴岡地区特養連絡協議会の9法人】

- ・思恩会・恵泉会・榊引福寿会・羽黒百寿会・あつみ福祉会・一幸会・朝日ぶなの木会・ふじの里・鶴岡市社会福祉協議会
- ※今回の「フードドライブ」は、参加法人職員の家庭から食品を持ち寄り、様々な事情で生活にお困りの方に役立てていただく支援活動です。

### ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます

(令和3年9月1日から令和3年10月31日までのご寄付を掲載しています)

#### ★地域福祉センターなえづへ

・五十嵐 菊美 様 30,000円

#### ★なえづ老人デイサービスセンターへ

・山形バナソニック(株) 様 介助型車椅子 1台

#### ★温海福祉センターへ

・イトー農場 様 玄米 30kg 17袋

#### ★温海デイサービスセンター愛寿園へ

・五十嵐 伊都夫 様 100,000円

・本間 義則 様 30,000円

#### ★鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるまへ

・イオンモール三川 様 商品券 22,400円分

#### ★フードバンクへ

・ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株) 山形テクノロジーセンター 燦活動 様

食料・飲料品 64点

・明治安田生命 荘内北営業所 様

食料・飲料品 134点

・(独)国立高等専門学校機構 鶴岡工業高等専門学校 様  
乾パン 128パック入 16箱

#### ★フードバンク、子ども食堂へ

・(有)すがわら製麺 様 ひやむぎ 1,200袋

#### ★特別指定寄附(オフィス「ひので」)へ

・(医)レスポアール すこやかレディースクリニック 様  
50,000円

### おだがいさま

第97号  
令和3年12月1日発行  
発行部数 47,800部



編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会

鶴岡市泉町5番30号 (にこ♥ふる 2階)

TEL 0235-24-0053 FAX 0235-23-9110

ホームページ <https://www.shk01.jp/>

鶴岡福祉センター TEL 24-0053

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

榊引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-2114



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。